

ひまわりを植えて元気な町づくりを発信せよ

町長…町としても活動の素晴らしさをPRします



青木 久子 議員



地区民と一緒に作業する子どもたち

当町における婚活支援は

「山形みんなで子育て応援団」の実践活動として、取り組むべきは出会いの場の創出です。

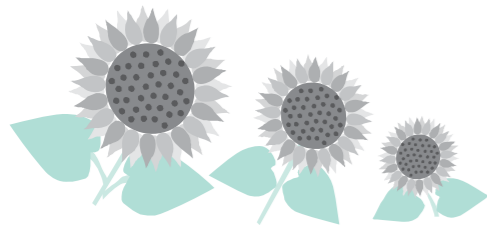
当町も県や各市町村との連携強化はもちろんのこと独自の政策をしっかりと考える時期と思うが、町長 結婚適齢期男女の出会いの機会が減っていることは認識しています。男女共同参画が推進される中で、職業や生活スタイルも変化し、結婚に対する意識の多様化が進んでおり、公平・平等を前提とする行政が出会いの場を設定することには限界があるものと考えます。

しかし最近では、青年会議所や商工会、NPOの主催する交流会が近隣市町村でも数多く開催されていますので、これらの情報を町広報紙等でお知らせしていきます。

町のにぎわいづくり創出にひまわりを植えてみてはどうか

駒籠小学校区では長年「ひまわり活動」を大浦・駒籠地区民と子供たちと一緒に取り組んでいます。地区全戸に種を配布して植え、咲き競った夏場の光景は感激です。ひまわりの種を絞り、その油で揚げた天ぷらは美味しい。収穫を喜ぶ至福のひと時です。この思いを全町で味わってほしいと思います。軌道にのれば産品にもなりうる可能性は高いと思うがどうか。

町長 「ひまわりで地域づくり」をスローガンに町独自の補助事業として20年の「いきいき元気地域活動支援事業」に認定されたものです。地域住民が一丸となった協働活動により地域活性化へつながり、児童が町の基幹産業である農業に親しみ



その大切さにふれあい食育を理解して人材おこしにもつながったと確信しています。

この成果を町全体に広げ町の特産品となれば、地域おこしのみならず町の基幹産業につながります。いろいろなイベントや交流会の機会等の場を十分活用しながら、これまでの活動の成果をできるだけ多くの地域で理解していただき、町全体に広め認識してもらいたい町としても活動のすばらしさをPRしていきます。



新しく生まれ変わった駅前通り



村岡 藤弥 議員

民主党のようないい加減な公約では困る

アメリカ発の経済不況は当町を含む全世界を巻き込み、いまだに企業経営、雇用に大きな影をおとし回復の兆しが見えない。このような状況の昨年の夏、衆議院選挙が行われ、国民うけを狙った耳触りのいい「いい加減なマニフェスト」を掲げた民主党が政権を握ったがいざふたを開けてみれば実現不可能な公約を撤回したり大きく修正あるいは先送りの事態が続いている。いい加減な言葉「公約」でごまかし、政権を握ることは許されることではない。阿部町長が掲げた選挙公約に対する自己評価はどうか。

町長 約束をした諸施策についてはできる限り取り組んできたが、子育て支援のための出産祝い金のさらなる拡充や、小学校卒業までの医療費完全無料化などは実現できていない。しかし、統合中学校建設や駅前地区土地区画整理事業の完工、さらには、横山地区の流雪溝面的整備、引き続き岩ヶ袋・海谷地区の事業採択、公共下水道事業の促進、防災通報システムの導入などハード事業はほぼ完成、または諸につけることができた。ソフト事業は受け取り方で評価が変わるが、ギリギリでも合格点はいただけると確信している。

3期目への意欲は

景気浮揚・雇用対策に加え衆議院選挙があり、20・21年度に自民党政権の大盤振る舞いと言える補正に次ぐ補正予算が組まれ、当町においても暗礁に乗り上げていた様々な事業が進展した。町長が公約した防災無線も実現し、統合中学校も想定外と言える恩恵を享受し、多くの事業予算を次年度まで繰越しをしている。現状を踏まえ町政発展への思い、3期目への意欲は決意は。



横山地区流雪溝通水式

町長 混迷が続く社会経済の中で、町の進むべき方向に誤りなく舵を据え安定させることが私の責務と考えており、その決意を持って3期目に臨んでまいりたいと意を新たにしています。

3期目への意欲・決意は
町長：安定した町政を目指し3期目に臨みたい